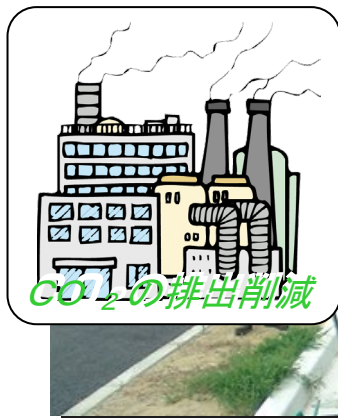


中温化アスファルト混合物物 (低炭素アスファルト混合物物)

ミデアミックス



● 中温化アスファルト混合物とは

私たちの身近にある通常の舗装材料は、加熱アスファルト混合物と呼ばれるもので、その名の通り、アスファルトと骨材を加熱混合して製造します。この加熱アスファルト混合物は、製造時には約180℃、舗設時には150～160℃の温度となります。中温化アスファルト混合物とは、この製造温度・舗設温度を、品質を確保したまま、30℃程度低減した加熱アスファルト混合物です。

● ミデアミックスの効果

中温化アスファルト混合物「ミデアミックス」は、製造工程において添加される中温化剤により、アスファルト内にCO₂を含まない良質な微細泡が発生し、舗設が終了するまでの2～3時間にわたり混合物内に安定的に保持されます。この結果、アスファルトの粘度が低下し、低い温度条件でも良好な施工性・混合物性状が確保され、品質を確保したまま、製造・舗設の温度を30℃程度低減することができます。



中温化剤添加によるアスファルトの発泡状況

● 特長と用途

● CO₂の排出削減効果

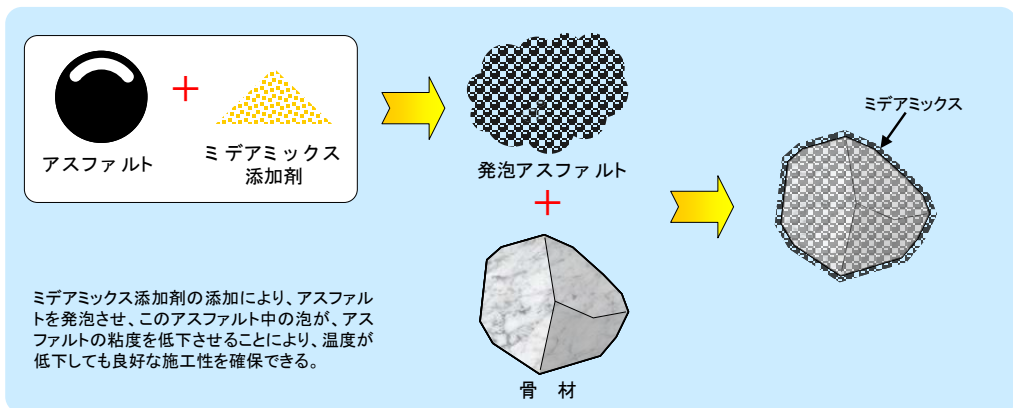
ミデアミックスは、通常の混合物に比べ30℃程度低い温度で製造できるため、加熱にかかる燃料消費量の削減により、CO₂の発生量を約16%(3.36 kg/t)削減することができるカーボンミニマム製品です。地球環境に配慮したDfE商品(Design for Environment：環境配慮設計)としてご活用ください。

燃料消費量の削減によるCO₂排出削減量の計算例 (アスファルト量:5.5%)

	混合温度	混合物製造時		CO ₂ 削減量	CO ₂ 削減率
		燃料消費量	CO ₂ 発生量		
加熱アスファルト混合物	通常	7.71 ㎏/t	20.89 kg/t	—	—
ミデアミックス	通常より30℃低下	6.47 ㎏/t	17.53 kg/t	3.36 kg/t	16.1 %

● 寒冷期の施工性向上および品質確保

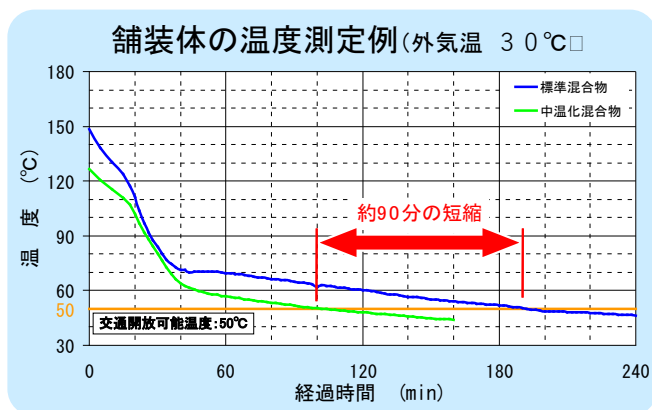
ミデアミックスは、微細泡のベアリング作用により作業性が保持されるため、舗設時に温度低下が発生しても十分な締固め効果が得られます。温度低下の発生しやすい寒冷期の施工において、施工性の向上や品質確保に効果を発揮します。



ミデアミックスの機構概念図

● 交通開放までの時間短縮

ミデアミックスは、低い温度で舗設できるため、交通開放可能温度(50℃)に達するまでの時間が短縮され、実施工時間の延長による工期の短縮や、規制時間の短縮による渋滞の緩和等に威力を発揮します。



地球にやさしい技術力

鹿島道路株式会社

<http://www.kajimaroad.co.jp>

本店 〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27(後楽鹿島ビル)

営業部 技術営業課 03-5802-8011 技術部 03-5802-8014

北海道支店 011-699-7744 東北支店 022-216-8501 関東支店 048-872-8002
 東京支店 03-5802-8021 横浜支店 045-312-8061 北陸支店 025-243-3851
 中部支店 052-204-0770 関西支店 06-6910-3701 中国支店 082-567-4567
 四国営業所 087-885-5800 九州支店 092-451-4356 技術研究所 048-053-3492

担当者